

- **ワンセグ放送対応プレビュー検証機能等の導入について**
—大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンター—
- 平成18年6月1日

平成18年4月1日、ワンセグ放送*1が開始されました。ワンセグ放送は携帯電話型受信端末などを用い、通信との連携による様々な通信・放送融合サービスが期待されています。

独立行政法人情報通信研究機構(以下、NICT。理事長:長尾 真)は、NICTが有する大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンター*1の既存支援システムに、ワンセグ放送*2を対象とした通信・放送融合サービスの評価・検証を支援するための機能を拡充し、平成18年6月1日から利用を可能としましたのでお知らせします。これにより、ワンセグ放送サービスのうちデータ放送部分のモノメディア*3制作や動作シミュレーション及び携帯電話機によるプレビュー検証などが行えるようになりました。

【主な拡充機能】・・・別紙参照

1. ワンセグ放送対応モノメディア制作・動作シミュレーション機能
(1)静止画を効率的に制作・編集することができます。
(2)BML/BCML*4ファイルの制作・動作検証等を行うことができます。
2. ワンセグ放送対応プレビュー検証機能
1の機能を用いて制作されたワンセグデータ放送用コンテンツを携帯電話機の画面上にて動作検証することができます。

<問合せ先>

独立行政法人情報通信研究機構
総合企画部広報室
奥山利幸、大野由樹子
TEL:042-327-6923、FAX:042-327-7587

<利用に関する問合せ先>

連携研究部門 特別研究G
大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンター
苑田洋史、菟原健蔵
Tel:06-6563-2950、Fax:06-6563-2951

【用語解説】

*1 大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンター

大阪通信・放送融合技術開発テストベッドセンターは、通信・放送融合技術の開発を加速・促進し、通信・放送融合サービスの開発・普及を図ることを目的として、NICTが整備・運営する共同利用施設です。通信・放送融合技術の開発を行う企業等が、この施設を利用して、通信・放送融合技術の有効性に関する評価・検証を行うことができます。

所在地: 〒556-0021大阪市浪速区幸町2-7-6 大阪桜川ビル5F

URL: <http://www-osaka-yugo.nict.go.jp>

*2 ワンセグ放送

地上デジタル放送の電波の一部を利用して携帯端末向け放送を行うもので、移動中でも高品位の画像を楽しむことができることなどから、今後多彩な放送サービスを担うものとして大きな期待が寄せられています。

*3 モノメディア

文字、図形、静止画等のデータ放送を構成するコンテンツ素材。

*4 BML/BCML(Broadcast Markup Language / Broadcast Contents Markup Language)

ARIB(社団法人電波産業会)によって策定されたデータ放送向けのページ記述言語、データ放送番組交換方式

1 ワンセグ放送対応モノメディア制作・動作シミュレーション機能 (データ放送コンテンツ制作編集システム)



ワンセグ放送BMLコンテンツ、通信BMLコンテンツのプログラミング及びシミュレーションにより動作検証を行うことができます。

ワンセグ放送対応携帯電話機



2 ワンセグ放送対応プレビュー検証機能 (通信・放送融合実証システム)

ワンセグ放送用
プレビュー



TS
データ*

RF (OFDM) 変調器



実際の放送局が送出するTSとほぼ同じ環境で、ワンセグ放送対応携帯電話機によるコンテンツ動作検証を行うことができます。



(携帯電話での検証はデータ放送コンテンツのみ動作検証が可能です)

* TSデータ(Transport Stream)

映像や音声、データ放送などの個別のストリームをアプリケーションや伝送路の種類によらず共通の信号形式で扱ったデジタル放送の多重化信号